

# 鹿児島県（森林経営管理市町村サポートセンター）

- 森林経営管理制度の推進を図るため、林業技術職員の採用や森林・林業施策の経験が不足している市町村の支援策として、当制度の運用に係る技術的な助言・指導を行う「森林経営管理市町村サポートセンター(愛称：もりサポ)」を県森連に設置した（令和元年5月）。
- 運用を開始した令和元年度以降、もりサポの活動により当制度の推進に対する市町村の意識醸成が図られた。
- 市町村への個別訪問指導等により、意向調査、地元説明会の開催、集積計画の作成などが円滑に進められた。
- 令和4年度末で、19市町が43地区で217haの集積計画を作成し、うち11市町が15地区で54haの配分計画を作成している。
- HPによる情報発信や窓口対応により、市町村からの相談や問い合わせが増加傾向にあり、当制度の普及・定着が図られている。

## □ 事業内容

### 森林経営管理推進サポート事業（令和元～5年度）

- ・ 市町村，県地域振興局，林業事業体等との連携体制の構築
- ・ 森林情報の収集，意向調査，森林経営管理(実施)権集積(配分)計画など市町村業務に対する助言等
- ・ 制度の普及啓発及び情報発信（HP開設）

【事業費】16,573千円（全額譲与税）

- 【実績】
- ・ 各地区説明会や検討会（25回）
  - ・ 市町村への個別訪問指導（108回）
  - ・ 県庁・各地域振興局との協議（32回）
  - ・ その他の個別協議や相談対応など（31回）
  - ・ 専用HPにおける会員サイトの運営



（住民説明会）

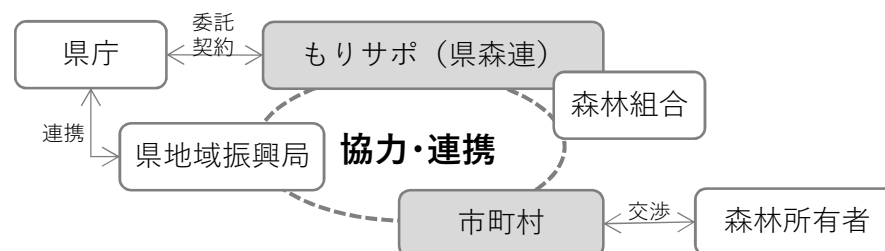


（集積に向けた現地検討）



（配分計画の協議）

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・ 集約化等の経験豊富な森林組合の上位組織を委託先に選定
- ・ もりサポに県林業職員OBを雇用して事業効果の発現を促進
- ・ 市町村への理解が得られやすいよう個別訪問指導等を徹底
- ・ 各地域振興局に専属配置された職員が市町村支援をフォロー
- ・ 専用HPによる情報発信（会員専用サイトも開設）

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	130,940千円
②私有林人工林面積（※1）	163,079ha
③人口（※2）	1,588,256人
④林業就業者数（※2）	1,959人

※1：「2020農林業センサスより」より、※2：「R2年国勢調査」より

# 鹿児島県（地域林政アドバイザー育成・確保事業）

- ▶ 森林経営管理法に基づき、市町村は森林経営管理制度に取り組んでいるが、経営管理されていない森林の抽出、当該森林所有者への意向調査に基づく法定計画等作成に係る実務及び市町村森林経営管理事業の執行など、これまでに経験のない業務を担っている。
- ▶ 県内において、林業技術職を配置しているのは5市町に過ぎず、大半を占める一般職については短期間での異動も相まって、慢性的な人材不足に陥っている。これは全国的な傾向であり、国は市町村に対して、地方交付税を活用した「地域林政アドバイザー」の雇用を推進しているが、国が示す要件等に見合う人材が確保できず、制度推進上の隘路となっている。
- ▶ これらを背景に、同法に基づき市町村支援を行うべき県が、当該要件を満たす研修内容について林野庁の認定を受けて実施し、市町村が求める人材を育成・確保することとしている。

## □ 事業内容

### 地域林政アドバイザー育成・確保事業（令和3～5年度）

県森連に下記業務を委託し、市町村支援の一助とした。

#### ① 地域林政アドバイザー育成協会の設置・運営

- ・ 有識者5名(国,県,鹿児島市,現職アドバイザー,森林組合)で構成
- ・ 研修前後に1回ずつ開催（7月28日、1月27日）し、研修カリキュラムや次年度に向けた課題等の検討について協議

#### ② 地域林政アドバイザー育成研修・の開催

- ・ 1日間(10月13日)プレ講義（事前研修）を開催
- ・ 6日間(10月31日～11月2日、11月16日～18日)の研修を開催
- ・ 必要な座学に加えて、現地視察及びグループ討議を実施

【事業費】2,200千円（全額譲与税）

【実績】地域林政アドバイザー13名を養成



（協議会）

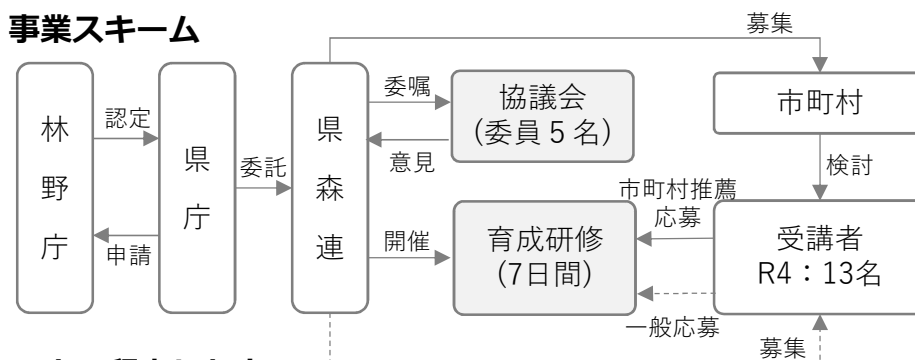


（現地：森林調査）



（グループ討議）

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・ 有識者で構成する協議会によりカリキュラム等を決定
- ・ 国の要件である座学に加えて現地視察やグループ討議を導入
- ・ 市町村が推薦する候補者と一般公募により対象者を確保
- ・ 各講義ごとに「ふり返し」の時間を設けて習熟度を把握
- ・ 次年度に向けて研修後の協議会で課題等を整理

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	130,940千円
②私有林人工林面積（※1）	163,079ha
③人口（※2）	1,588,256人
④林業就業者数（※2）	1,959人

※1：「2020農林業センサスより」より、※2：「R2年国勢調査」より

## 鹿児島県（林業担い手確保・育成総合対策事業）

- 本県の林業就業者数は令和3年度末で1,407人で、近年は緩やかな減少傾向にあり、10年前と比較すると84%まで減少している。
- 新規就業者数は、令和3年度までの5年間は平均150人程度であり、就業者全体に占める若年層の割合は増加しているものの、離職者も多いことから、林業就業者の確保が急務となっている。
- 近年の木材需要により、人工林の伐採が増加傾向にあるものの、再造林率は5割程度と森林の多面的機能の維持が懸念されている。
- 林業の成長産業化と併せて、森林の多面的機能を持続的に発揮するためには、森林資源の循環利用が不可欠であり、今後も増加が予想される再造林や保育作業等に確実に対応していくため、林業担い手の確保・育成に係る総合的な取組を展開する。

### □ 事業内容

【事業費】49,069千円（うち譲与税48,769千円）

【実績】

#### 1 新規林業就業者確保対策事業

- ①新規学卒者への就業促進活動 21校
- ②UIターン者の就業促進活動 50人
- ③経営者等向けの研修会の開催 22名
- ④WEBサイトによる情報発信 1式

#### 2 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業

- ①高校生地元定着促進イベント 92人
- ②高校生等対象インターシップ 9人
- ③鹿児島きこり塾（技術研修） 17人
- ④森林経営プランナー育成研修 25人
- ⑤技能講習や特別教育等の実施 165人
- ⑥高性能林業機械操作実践研修 4人
- ⑦伐木作業安全指導者育成研修 15人



（1-③：経営者等向け研修）



（2-②：インターシップ）



（2-③：鹿児島きこり塾）



（2-⑥：機械操作実践研修）



（2-⑦：安全指導者育成研修）

### □ 事業スキーム

#### 1 新規林業就業者確保対策事業

- ①～④ 県林業労働力確保支援センターに委託
- 2 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業
  - ①～③ 県林業労働力確保支援センターに委託
  - ④ 県直営
  - ⑤, ⑥ 県林業労働力確保支援センターに委託
  - ⑦ 林業・木材製造業労災防止協会鹿児島県支部に委託

### □ 工夫・留意した点

- ・WEB活用による継続的な情報発信
- ・関連団体や外部講師と連携し、就業者等の技能レベルに応じて段階的かつ体系的に研修等を実施

### ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	130,940千円
②私有林人工林面積（※1）	163,079ha
③人口（※2）	1,588,256人
④林業就業者数（※2）	1,959人

※1：「2020農林業センサスより」より、※2：「R2年国勢調査」より

- 地域の木材（かごしま材）を積極的に利用した家づくりは、林業・木材産業の振興を通じた地域経済の活性化はもとより、森林整備の推進や地球温暖化の防止などに貢献
- かごしま材を積極的に使用して家づくりに取り組む工務店等を登録し支援を行うとともに、建築主を対象に同工務店の取組やかごしま材利用の意義や効果などについて普及・PRを実施

## □ 事業内容

### 木って活かす建てて生かす「かごしま木の家」推進事業

#### 1 「かごしま木の家」の普及・PR等

【事業費】 1, 925千円（委託：全額譲与税）

- 【実績】 ・「かごしま緑の工務店」のPR・登録事務
- ・木の家づくりセミナーの開催（約60名参加）
  - ・木の家事例集作成・配布（1,000部）
  - ・工務店に対して受注増加につなげる研修会の開催(45名参加)

#### 2 「かごしま緑の工務店」の活動支援

【事業費】 5, 100千円（補助金：全額譲与税）

- 【実績】 ・「かごしま緑の工務店」(21社)による完成見学会等の販売促進活動を支援  
（完成見学会(35回),構造見学会(5回),バスツアー(6回)）

## □ 取組の背景

- ・住宅着工戸数は、長期的には少子化等の影響による減少が予想されることなどから、木材需要の減少が懸念
- ・住宅ローン減税等の駆け込み需要による反動減や感染症拡大に伴う経済活動の停滞等により、木材需要の減少が懸念



（木の家づくりセミナー）



（木の家事例集）



（構造見学会）

## □ 工夫・留意した点

- ・「木の家づくりセミナー」については、後日YouTubeを活用して配信するなど広くPRを実施
- ・木の家事例集には9社掲載し「かごしま木の家」の魅力などを紹介
- ・工務店向けの研修会では、全国で活躍する講師を招き新たな技術や家づくりを県内に普及

## □ 取組の効果

- 「かごしま緑の工務店」登録数の増加  
R3：206社 → R4：214社（うち新規10社）
- 「木の家づくりセミナー」や「緑の工務店」の活動を支援し、一般ユーザーへ「かごしま木の家」を周知  
（完成見学会等参加者：1,185人）
- 「かごしま木の家」の建築棟数 1,339棟

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	130,940千円
②私有林人工林面積（※1）	163,079ha
③人口（※2）	1,588,256人
④林業就業者数（※2）	1,959人

※1：「2020農林業センサスより」、※2：「R2年国勢調査」より